

福祉健康部地域医療課

令和3年12月定例会 厚生消防委員会

令和3年度 生駒市立病院 中間報告書

目次

診療科目	1
病床数	3
人員体制	5
患者数	7
質の高い医療の提供	9
地域完結型の医療体制構築への寄与	15
救急医療の充実	19
小児医療の充実	23
災害時医療の確保	23
予防医療の啓発	23
市民参加による運営	25
環境に配慮した運営	25
収支	27

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 中間報告
診療科目	14 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科	16 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前 9:00～12:00 夕方 17:00～19:00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8:00～12:00 夕方 16:30～19:00(土曜日除く)	16 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 外科 脳神経外科 整形外科 形成外科 小児科 腎臓泌尿器科 産婦人科 リハビリテーション科 放射線科 救急科 麻酔科 血管外科 皮膚科 診察日・診察時間 ・診察日 月曜日～土曜日 (祝日、年末年始(12/31～1/3)を除く) ・診察時間 午前 9:00～12:00 夕方 17:00～19:00(土曜日除く) ・受付時間 午前 8:00～12:00 夕方 16:30～19:00(土曜日除く)
	上記以外の診療科については、市民ニーズ等の必要に応じて、指定管理者と協議し、追加できるものとなります。	・既存の診療科の医療内容の充実を目指し、常勤医師の確保を図ります。 ・院内の診療科間の連携及びより高次、専門性の高い医療機関との連携を進めます。	令和 3 年 4 月に小児科の常勤医師を増員し、6 月には脳神経外科の常勤医師を確保しました。 さらに、より高次、専門性の高い医療機関との連携体制(脳神経外科、心臓血管外科等における近畿大学奈良病院や奈良県総合医療センターとの連携体制)を推進しました。

令和3年度 中間報告の補足説明					取組の評価・課題	
〈診療科目〉 令和3年度上半期において、診療科の変更なし 〈その他〉					○乳腺・甲状腺外来を積極的に周知したことで、患者数が増加し、がんの早期発見や専門的治療ができる体制が充実してきている。 課題 今後も市内医療機関等への情報提供を継続的に行い、専門外来の充実をより一層図る必要がある。	
内容	開始時期	診察時間	R3 中間	R2 中間		
一般診療(内科系、外科系を含めて総合的に診察)	H27.7～ R3.8～ (名称変更※1)	月～金 17:00～19:00	1,129件	1,192件		
大学の腎臓泌尿器科外科教授による特別外来	H27.9～	月2回 PM (予約制)	233件	154件		
がん治療相談外来 ※2 (放射線科)	H27.10～	週1回 AM				
ペイン(痛み)外来 (麻酔科)	H27.11～	月2回 AM	80件	74件		
助産外来 ※2 (産婦人科)	H28.4～	週1回 PM				
フットケア外来 (形成外科)	H28.6～	週3回 AM	378件	286件		
乳腺・甲状腺外来 (外科)	H29.10～	週1回 AM	819件	548件		
小児アレルギー外来 (小児科)	H30.12～	週1回 PM	106件	45件		
まぶた外来 ※3 (形成外科)	H28.12～	週4回 PM 週1回 AM	452件	342件		
アンチエイジング外来 ※3(形成外科)	H29.4～					
レーザー外来 ※3 (形成外科)	H29.8～					
下肢静脈瘤外来 ※3 (形成外科)	H31.4～					
消化器外来 (小児科)	R3.2～	週1回 PM	10件			
※1 一般診療については、令和3年8月に総合診療科から名称変更 ※2 がん治療相談外来、助産外来については、一般外来患者数に含めて算出しているため、件数の算出が不可能 ※3 まぶた外来・アンチエイジング外来・レーザー外来・下肢静脈瘤外来については、形成外科(専門外来)として同一で予約枠を設定しているため、件数の算出が不可能 <高次、専門性の高い医療機関との連携実績> ・近畿大学奈良病院：整形外科、脳神経外科、血液内科、膠原病内科、耳鼻咽喉科、呼吸器内科、産婦人科、糖尿病内科、歯科口腔外科、放射線科、呼吸器外科等との連携 ・奈良県総合医療センター：呼吸器内科、感染症内科、脳神経外科、消化器内科、循環器内科、産婦人科、心臓血管外科、放射線科、耳鼻咽喉科、内分泌内科等との連携						

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 中間報告
病床数	病床数 210 床	(令和 4 年 3 月 31 日) 実稼働可能病床数 210 床	(令和 3 年 9 月 30 日) 実稼働可能病床数 210 床
	ICU 7 床 小児科 20 床 産婦人科 20 床 内科系 79 床 外科系 84 床	小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床 病棟編成 5 病棟、7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU)	小児科 5 床 産婦人科 19 床 内科系 87 床 外科系 91 床 HCU 8 床 病棟編成 5 病棟、7 対 1 看護基準 (一般) 4 対 1 看護基準 (HCU)
		<p>・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、病床利用率の向上に向け、入院医療に対応できる常勤医師の確保、地域医療機関との連携強化による紹介患者の受け入れに取り組みます。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症患者及び疑似症患者の入院受け入れのための感染症病床として、感染症患者用病床 12 床及び疑似症患者用病床 4 床を引き続き確保します。</p> <p>・小児科の常勤医師のさらなる増員により、小児科の救急医療や入院医療の体制を整備し、北和小児科二次輪番へ参加します。</p>	<p>・救急患者の積極的な受け入れをはじめ、病床利用率の向上に向け、入院医療に対応できる脳神経外科等の常勤医師を確保しました。また、地域医療機関との連携強化による紹介患者の受け入れに取り組みました。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染症陽性患者の入院を 5 階西病棟を引き続き専用病棟としたうえで受け入れ、疑似症患者の受入病床を 5 階東病棟と 4 階東病棟に各 1 床確保しました。</p> <p>・小児科の常勤医師の増員により、小児科の診療時間内の救急医療に対応し、入院医療の体制を整備しました。</p>

	R3中間	R2	増減
実稼働可能病床数	210	210	0
小児科	5	5	0
産婦人科	19	19	0
内科系	87	87	0
外科系	91	91	0
HCU	8	8	0

看護基準

令和元年12月以降10対1から7対1へアップしました。

1 日平均病床利用率

(令和2年度4月～9月：48%→令和3年度4月～9月：49%)

4 階西病棟

小児科・産婦人科・形成外科・一般内科の女性の一般患者を対象とした混合病棟

4 階東病棟

整形外科、腎臓泌尿器科、脳神経外科、形成外科、一般内科

5 階西病棟

新型コロナウイルス感染症陽性患者専用病棟

5 階東病棟

外科、消化器内科、循環器内科、血管外科

令和3年1月から新型コロナウイルス感染症陽性患者の受け入れを始めて、循環器内科、血管外科、形成外科、一般内科の病棟を他の3病棟に振り分けて対応しました。

また、令和3年5月からは陽性患者用確保病床を12床から16床に拡大し、さらに8月23日からは20床に拡大しました。

<HCU (High Care Unit)>

- ・準集中治療室
- ・専任の常勤医師が常時院内に勤務していることが必要
- ・看護基準4対1

<参考：HCUの稼働状況>

	R3中間		R2中間		増減	
	延べ人数	病床利用率	延べ人数	病床利用率	延べ人数	病床利用率
4月	187	77.9%	185	77.1%	2	0.8%
5月	148	59.7%	161	64.9%	△13	△5.2%
6月	139	57.9%	169	70.4%	△30	△12.5%
7月	155	62.5%	202	81.5%	△47	△19.0%
8月	185	74.6%	187	75.4%	△2	△0.8%
9月	184	76.7%	198	82.5%	△14	△5.8%
合計	998	68.2%	1,102	75.3%	△104	△7.1%

1 日最大稼働病床数 (令和3年度4月～9月)

132床 (病床利用率：132床÷210床=62.9%) (令和2年度4月～9月 67.1%)

月平均新入院患者数 (令和3年度4月～9月) 245.2人

(令和2年度4月～9月 220.8人)

平均在院日数 (令和3年度4月～9月) 12.8日

(令和2年度4月～9月 13.9日)

○7対1看護基準が引き続き維持されており、令和3年1月からは、新型コロナウイルス感染症患者受入病棟においては、HCUの看護配置による手厚い看護体制が取られている。

○新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況に応じて、陽性患者の受入病棟を増床し、積極的に入院受入を行うことにより、コロナ対応に注力している。

○小児科の常勤医師を1名増員したことにより、入院診療及び救急医療に対応できる外来診療体制を整備し、令和3年10月から北和小児科二次輪番体制へ参加することになった。

課題

病床利用率が低い原因は、主に整形外科常勤医師の不在によるものと考えており、不足する診療科の常勤医師の確保に引き続き努める必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 3 年度 事業計画		令和 3 年度 中間報告																																																																																																																																																																									
人 員 体 制	<p>人員体制については、開院当初は、1 日平均想定患者数（外来 300 名、入院 140 名と仮定）による医療法規定人員数に基づき、次のとおり整えます。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>医師</td><td>25名</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>80名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>6名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td rowspan="3">3名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>6名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>7名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>2名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>29名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>40名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>198名</td></tr> </tbody> </table>	職種	人数	医師	25名	看護師	80名	薬剤師	6名	理学療法士	3名	作業療法士	言語聴覚士	放射線技師	6名	検査技師	7名	栄養士	2名	看護助手	29名	事務職員等	40名	合計	198名	<p>(令和 4 年 3 月 31 日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>常勤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>25名</td></tr> <tr><td>外来部門</td><td>42名</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>98名</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>3名</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>14名</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>140名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>15名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>12名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>1名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>9名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>10名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>19名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>7名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>54名</td></tr> <tr><td>計</td><td>133名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>298名</td></tr> </tbody> </table>			常勤	内科	3名	消化器内科	1名	循環器内科	2名	外科	3名	脳神経外科	1名	整形外科	1名	形成外科	2名	小児科	3名	腎臓泌尿器科	1名	産婦人科	3名	リハビリテーション科	0名	放射線科	1名	救急科	1名	麻酔科	2名	血管外科	0名	皮膚科	1名	計	25名	外来部門	42名	入院部門	98名	内) 准看護師	3名	内) 助産師	14名	内) 保健師	0名	計	140名	薬剤師	15名	理学療法士	12名	作業療法士	1名	言語聴覚士	3名	放射線技師	9名	検査技師	10名	栄養士	3名	看護助手	19名	臨床工学技士	7名	事務職員等	54名	計	133名	合計	298名	<p>(令和 3 年 9 月 30 日)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>常勤</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>消化器内科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>循環器内科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>外科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>脳神経外科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>整形外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>形成外科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>小児科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>腎臓泌尿器科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>産婦人科</td><td>3名</td></tr> <tr><td>リハビリテーション科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>放射線科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>救急科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>麻酔科</td><td>2名</td></tr> <tr><td>血管外科</td><td>0名</td></tr> <tr><td>皮膚科</td><td>1名</td></tr> <tr><td>計</td><td>22名</td></tr> <tr><td>外来部門</td><td>42名</td></tr> <tr><td>入院部門</td><td>108名</td></tr> <tr><td>内) 准看護師</td><td>3名</td></tr> <tr><td>内) 助産師</td><td>17名</td></tr> <tr><td>内) 保健師</td><td>0名</td></tr> <tr><td>計</td><td>150名</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>14名</td></tr> <tr><td>理学療法士</td><td>11名</td></tr> <tr><td>作業療法士</td><td>1名</td></tr> <tr><td>言語聴覚士</td><td>4名</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>8名</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>12名</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>3名</td></tr> <tr><td>看護助手</td><td>17名</td></tr> <tr><td>臨床工学技士</td><td>7名</td></tr> <tr><td>事務職員等</td><td>51名</td></tr> <tr><td>計</td><td>128名</td></tr> <tr><td>合計</td><td>300名</td></tr> </tbody> </table>			常勤	内科	2名	消化器内科	1名	循環器内科	2名	外科	3名	脳神経外科	1名	整形外科	0名	形成外科	2名	小児科	3名	腎臓泌尿器科	1名	産婦人科	3名	リハビリテーション科	0名	放射線科	0名	救急科	1名	麻酔科	2名	血管外科	0名	皮膚科	1名	計	22名	外来部門	42名	入院部門	108名	内) 准看護師	3名	内) 助産師	17名	内) 保健師	0名	計	150名	薬剤師	14名	理学療法士	11名	作業療法士	1名	言語聴覚士	4名	放射線技師	8名	検査技師	12名	栄養士	3名	看護助手	17名	臨床工学技士	7名	事務職員等	51名	計	128名	合計	300名
	職種	人数																																																																																																																																																																											
	医師	25名																																																																																																																																																																											
看護師	80名																																																																																																																																																																												
薬剤師	6名																																																																																																																																																																												
理学療法士	3名																																																																																																																																																																												
作業療法士																																																																																																																																																																													
言語聴覚士																																																																																																																																																																													
放射線技師	6名																																																																																																																																																																												
検査技師	7名																																																																																																																																																																												
栄養士	2名																																																																																																																																																																												
看護助手	29名																																																																																																																																																																												
事務職員等	40名																																																																																																																																																																												
合計	198名																																																																																																																																																																												
	常勤																																																																																																																																																																												
内科	3名																																																																																																																																																																												
消化器内科	1名																																																																																																																																																																												
循環器内科	2名																																																																																																																																																																												
外科	3名																																																																																																																																																																												
脳神経外科	1名																																																																																																																																																																												
整形外科	1名																																																																																																																																																																												
形成外科	2名																																																																																																																																																																												
小児科	3名																																																																																																																																																																												
腎臓泌尿器科	1名																																																																																																																																																																												
産婦人科	3名																																																																																																																																																																												
リハビリテーション科	0名																																																																																																																																																																												
放射線科	1名																																																																																																																																																																												
救急科	1名																																																																																																																																																																												
麻酔科	2名																																																																																																																																																																												
血管外科	0名																																																																																																																																																																												
皮膚科	1名																																																																																																																																																																												
計	25名																																																																																																																																																																												
外来部門	42名																																																																																																																																																																												
入院部門	98名																																																																																																																																																																												
内) 准看護師	3名																																																																																																																																																																												
内) 助産師	14名																																																																																																																																																																												
内) 保健師	0名																																																																																																																																																																												
計	140名																																																																																																																																																																												
薬剤師	15名																																																																																																																																																																												
理学療法士	12名																																																																																																																																																																												
作業療法士	1名																																																																																																																																																																												
言語聴覚士	3名																																																																																																																																																																												
放射線技師	9名																																																																																																																																																																												
検査技師	10名																																																																																																																																																																												
栄養士	3名																																																																																																																																																																												
看護助手	19名																																																																																																																																																																												
臨床工学技士	7名																																																																																																																																																																												
事務職員等	54名																																																																																																																																																																												
計	133名																																																																																																																																																																												
合計	298名																																																																																																																																																																												
	常勤																																																																																																																																																																												
内科	2名																																																																																																																																																																												
消化器内科	1名																																																																																																																																																																												
循環器内科	2名																																																																																																																																																																												
外科	3名																																																																																																																																																																												
脳神経外科	1名																																																																																																																																																																												
整形外科	0名																																																																																																																																																																												
形成外科	2名																																																																																																																																																																												
小児科	3名																																																																																																																																																																												
腎臓泌尿器科	1名																																																																																																																																																																												
産婦人科	3名																																																																																																																																																																												
リハビリテーション科	0名																																																																																																																																																																												
放射線科	0名																																																																																																																																																																												
救急科	1名																																																																																																																																																																												
麻酔科	2名																																																																																																																																																																												
血管外科	0名																																																																																																																																																																												
皮膚科	1名																																																																																																																																																																												
計	22名																																																																																																																																																																												
外来部門	42名																																																																																																																																																																												
入院部門	108名																																																																																																																																																																												
内) 准看護師	3名																																																																																																																																																																												
内) 助産師	17名																																																																																																																																																																												
内) 保健師	0名																																																																																																																																																																												
計	150名																																																																																																																																																																												
薬剤師	14名																																																																																																																																																																												
理学療法士	11名																																																																																																																																																																												
作業療法士	1名																																																																																																																																																																												
言語聴覚士	4名																																																																																																																																																																												
放射線技師	8名																																																																																																																																																																												
検査技師	12名																																																																																																																																																																												
栄養士	3名																																																																																																																																																																												
看護助手	17名																																																																																																																																																																												
臨床工学技士	7名																																																																																																																																																																												
事務職員等	51名																																																																																																																																																																												
計	128名																																																																																																																																																																												
合計	300名																																																																																																																																																																												
	<p>○医療従事者の確保の方法について (医師の確保) 特に常勤医師が不足している脳神経外科、整形外科を中心に、常勤医師の確保、増員を図ります。医師事務作業補助者を増員し、医師の業務負担の軽減を図るなど、医師の働き方改革の取組として、引き続き、勤務環境の改善を行います。</p> <p>(看護師、医療スタッフ等の確保) ・引き続き、学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行います。 ・研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に継続して取り組みます。 ・薬剤師の増員により、引き続き、病棟薬剤業務の充実を図ります。 ・7対1の看護基準により、さらなる看護ケアの充実を図ります。</p>	<p>○医療従事者の確保の方法について (医師の確保) 常勤医師に関しては、グループ内転勤により脳神経外科 1 名、勤務希望者の募集により小児科 1 名、医局人事により形成外科 1 名が入職しました。医師事務作業補助者を増員したことにより、医師の業務負担軽減のための勤務環境改善の取組を行いました。</p> <p>(看護師、医療スタッフ等の確保) ・入院部門看護師の増員により、日勤帯のみならず深夜時間帯を含めてさらなる看護ケアの充実を図りました。 ・学生実習の積極的な受け入れ、院内保育所の運営、再就職支援のための研修、多様な勤務形態の導入等を行いました。 ・研修制度の充実や病院が必要と判断した資格取得のための支援など、専門的な知識と技術を持った人材の確保・育成に取り組みました。 ・多職種によるチーム医療を充実させるため、各部門の責任者による運営会議での病院の運営に係る話し合いの他、負担軽減会議において、医師及び看護師の業務負担軽減についても話し合いを行いました。</p>																																																																																																																																																																											

	R3中間		R2		増減	
	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算	常勤	常勤換算
内科	2	4.1	3	4.8	△ 1	△ 0.7
消化器内科	1	1.5	1	1.4	0	0.1
循環器内科	2	2.0	2	2.0	0	0.0
外科	3	3.1	3	3.1	0	0.0
脳神経外科	1	1.1	0	0.3	1	0.8
整形外科	0	0.7	0	0.6	0	0.1
形成外科	2	2.6	3	3.2	△ 1	△ 0.6
小児科	3	3.0	2	2.2	1	0.8
腎臓泌尿器科	1	1.8	1	1.8	0	0.0
産婦人科	3	4.0	3	3.7	0	0.3
リハビリテーション科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
放射線科	0	0.6	0	0.6	0	0.0
救急科	1	2.6	1	1.7	0	0.9
麻酔科	2	2.0	2	2.0	0	0.0
血管外科	0	0.0	0	0.0	0	0.0
皮膚科	1	1.1	1	1.1	0	0.0
計	22	30.2	22	28.5	0	1.7
外来部門	42	51.4	43	52.0	△ 1	△ 0.6
入院部門	108	115.2	92	98.1	16	17.1
内) 准看護師	3	3.0	3	3.0	0	0.0
内) 助産師	17	18.6	15	16.6	2	2.0
内) 保健師	0	0.0	0	0.0	0	0.0
計	150	166.6	135	150.1	15	16.5
薬剤師	14	14.8	14	14.8	0	0.0
理学療法士	11	11.0	9	9.0	2	2.0
作業療法士	1	1.0	1	1.0	0	0.0
言語聴覚士	4	4.0	3	3.0	1	1.0
放射線技師	8	8.0	9	9.0	△ 1	△ 1.0
検査技師	12	12.0	9	9.0	3	3.0
栄養士	3	3.0	3	3.0	0	0.0
看護助手	17	17.6	16	16.9	1	0.7
臨床工学技士	7	7.0	7	7.0	0	0.0
事務職員等	51	55.9	44	47.8	7	8.1
計	128	134.2	115	120.4	13	13.8
合計	300	331.1	272	299.0	28	32.1

〈常勤換算数〉
 常勤換算数＝非常勤職員の勤務時間の合計÷常勤職員が勤務するべき時間

〈令和3年9月30日現在の非常勤職員数〉
 医師 64名、看護師 24名、その他 10名
 (令和3年3月31日現在の非常勤職員数
 医師 64名、看護師 20名、その他 9名)

〈医師の業務軽減〉
 ・医師事務作業補助者 9名(内科系 3名、外科 1名、整形外科 1名、産婦人科 1名、形成外科・小児科・皮膚科 1名、フリー 2名)
 (令和3年3月31日現在の医師事務作業補助者数 8名)

〈看護師、医療スタッフ等の確保対策〉
 ・院内保育所の設置 利用スタッフ数 10名
 ・研修参加費用の補助 学会への出張旅費等
 ・看護実習生の受入 250名(令和2年度上半期 306名)
 ・時短勤務 7名(令和2年度上半期 7名)
 ・産休・育休利用 10名(令和2年度上半期 11名)
 ・令和2年度から実施した職員満足度調査を今年度も実施予定

〈専門的な知識と技術を持った看護師〉
 認定看護管理者 1名、がん化学療法看護認定看護師 1名
 皮膚排泄認定看護師 1名、慢性腎臓病療養指導看護師 2名
 透析技術認定士 2名、フットケア指導士 1名、
 糖尿病療法指導士 1名、腎臓病療養指導士 2名(延べ人数)

〈専門的な知識と技術を持った薬剤師〉
 漢方薬・生薬認定薬剤師 1名、外来がん治療認定薬剤師 1名
 NST 専門療法士※ 2名、糖尿病指導療法士 1名
 サプリメントアドバイザー 1名(延べ人数)
 ※NST(栄養サポートチーム) 専門療法士とは、入院患者を対象に最良の栄養サポートを行う管理栄養士等が目指す資格のこと。

○脳神経外科の常勤医師を確保したことにより、入院患者の受入が可能となり、検査による早期診断や脳卒中患者の早期治療体制を整備することができた。

○小児科の常勤医師を1名増員したことにより、入院診療及び救急医療に対応できる外来診療体制を整備することができた。

○入院部門の看護師を増員したことにより、新型コロナウイルス感染症患者の受入病棟において、HCUの看護配置による看護ケアの充実を図ることができた。

○検査技師を3名増員したことにより、新型コロナウイルス感染症患者の検査、治療体制の充実を図ることができた。

○医師事務作業補助者等事務職員を確保したことにより、ワクチン接種における事務作業を円滑に行うことができ、ワクチン接種体制の充実を図ることができた。

○医療従事者の育児休業からの復職支援として時短勤務を導入するなど、出産、育児といったライフステージに応じた就労支援の取組がなされている。

○常勤医師に加え非常勤医師を確保し、常勤換算数が常勤医師の計画値を上回るなど、人員体制の充実が図られている。

課題
入院医療を充実させるため、引き続き不足する内科、整形外科、放射線科の常勤医師、薬剤師や看護助手を確保する必要がある。また、医師の業務負担軽減等のため、医師事務作業補助者等をさらに確保する必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)		令和 3 年度 事業計画		令和 3 年度 中間報告				
患者数	1 日平均患者数	1 日平均患者数		1 日平均患者数				
			入院	外来		入院	外来(ワクチン接種者除く)	外来(ワクチン接種者含む)
		4月	125.0人	229.0人	4月	111.1人	211.3人	229.9人
		5月	125.0人	225.0人	5月	112.4人	202.5人	230.7人
		6月	125.0人	227.0人	6月	98.3人	222.0人	282.8人
		7月	130.0人	243.0人	7月	84.6人	217.1人	298.5人
		8月	130.0人	249.0人	8月	103.8人	235.6人	319.3人
		9月	130.0人	244.0人	9月	108.1人	228.9人	308.4人
		10月	137.0人	228.0人	平均	103.0人	219.5人	278.3人
		11月	132.0人	228.0人				
		12月	140.0人	243.0人				
		1月	140.0人	247.0人				
		2月	140.0人	241.0人				
		3月	140.0人	251.0人				
		年間平均	132.8人	238.0人				
	○入院・外来患者数の増加に向けた取組	<p>入院医療に対応できる常勤医師の確保、救急を含む外来診療体制の維持のための非常勤医師の確保、地域医療機関との病病・病診連携の推進及び救急患者の確実な受け入れのほか、積極的に広報活動や医療講演会を実施することにより、入院・外来患者数の増加を目指します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き、帰国者・接触者外来及び発熱外来を実施します。また、市民へのワクチン接種も実施します。</p>		<p>○入院・外来患者数の増加に向けた取組</p> <p>入院医療に対応できる脳神経外科の常勤医師を確保し、救急を含む外来診療体制の維持のため、非常勤医師を確保しました。また、コロナ禍においても救急患者を積極的に受け入れ、地域医療機関との病病・病診連携を推進し、さらに、広報活動やオンラインによる医療講演会を実施し、入院・外来患者数の増加を目指しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、帰国者・接触者外来及び発熱外来の実施とワクチン接種を行いました。</p> <p>※ワクチン接種者数(延べ人数) 令和3年度4月～9月：合計 10,760人 1日平均接種者数 58.8人</p>				
	(市民への周知の取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・院内の広報委員会による広報活動の強化 ・ホームページ、LINE 公式アカウント、病院だより等による広報活動の推進 ・医療講演会(自治会等各種団体への出張講座含む)の推進 		<p>(市民への周知の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報委員によるホームページ、LINE 公式アカウント等のチェック、随時更新の実施 LINE 公式アカウント 令和3年9月末現在登録者数 801人 (令和3年3月末 578人) 				
	(地域の医療機関への周知の取組)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療連携室による地域の医療機関への積極的な情報提供を推進します。 		<p>(LINE 公式アカウントの掲載例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンライン医療講演のお知らせ ・新型コロナワクチンの予防接種について ・オンライン母親学級開催のお知らせ ・管理栄養士からのお知らせ ・病院だより発刊 				
		<ul style="list-style-type: none"> ・病診連携懇話会を開催し、症例検討会や市立病院の医療連携実績の報告など地域の開業医との「顔の見える関係性」を構築します。 		<ul style="list-style-type: none"> ・病院だより発刊 (令和元年8月以降、毎月1日に600部発刊) ・医療講演会 20講座 参加者 274名 (全てオンライン開催による参加者) (自治会等各種団体への出張講座はコロナ禍により未実施) (地域の医療機関への周知の取組) ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 1,198件、257施設 (令和2年度上半期 1,548件、255施設) ・低侵襲治療講演会 心不全・弁膜症の低侵襲治療講演会 6/17 49名参加(内オンライン 30名) ・病診連携懇話会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。 				

〈入院〉

	R3中間		R2中間		増減	
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均
内科	2,455	13.4	3,514	19.2	△ 1,059	△ 5.8
消化器内科	981	5.4	414	2.3	567	3.1
循環器内科	3,542	19.4	5,105	27.9	△ 1,563	△ 8.5
外科	6,482	35.4	4,548	24.9	1,934	10.5
脳神経外科	154	0.8	0	0.0	154	0.8
形成外科	3,650	19.9	3,024	16.5	626	3.4
小児科	126	0.7	157	0.9	△ 31	△ 0.2
腎臓泌尿器科	746	4.1	548	3.0	198	1.1
産婦人科	697	3.8	845	4.6	△ 148	△ 0.8
血管外科	21	0.1	166	0.9	△ 145	△ 0.8
計	18,854	103.0	18,321	100.1	533	2.9

※新型コロナウイルス感染症陽性患者は、外科で算定

〈外来〉

	R3中間		R2中間		増減	
	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均	延べ人数	1日平均
内科	14,056	76.8	8,317	45.4	5,739	31.4
内)ワクチン接種者除く	10,666	58.3	8,317	45.4	2,349	12.9
消化器内科	915	5.0	613	3.3	302	1.7
循環器内科	2,767	15.1	2,674	14.6	93	0.5
外科	4,207	23.0	3,334	18.2	873	4.8
脳神経外科	645	3.5	396	2.2	249	1.4
整形外科	2,481	13.6	2,240	12.2	241	1.4
形成外科	5,141	28.1	4,603	25.2	538	2.9
小児科	8,044	44.0	536	2.9	7,508	41.1
内)ワクチン接種者除く	674	3.7	536	2.9	138	0.8
腎臓泌尿器科	2,975	16.3	2,420	13.2	555	3.1
産婦人科	2,914	15.9	2,448	13.4	466	2.5
放射線科	280	1.5	263	1.4	17	0.1
麻酔科	54	0.3	30	0.2	24	0.1
血管外科	73	0.4	204	1.1	△ 131	△ 0.7
皮膚科	2,368	12.9	1,735	9.5	633	3.4
透析	2,002	10.9	1,990	10.9	12	0.0
健診・ドック	2,014	11.0	1,849	10.1	165	0.9
計	50,936	278.3	33,652	183.9	17,284	94.4
内)ワクチン接種者除く	40,176	219.5	33,652	183.9	6,524	35.6

※血管外科の患者は、循環器内科兼任医師が対応

※ワクチン接種者数(延べ人数) 内科:3,390人 小児科:7,370人 合計:10,760人

参考:達成率(上半期実績平均÷上半期計画平均)

- ・入院:103.0人÷127.5人=80.8%
- ・外来:219.5人÷236.2人=92.9%(ワクチン接種者除く)
- ・外来:278.3人÷236.2人=117.8%(ワクチン接種者含む)

〈情報発信モニター掲載例〉

- ・薬の案内
- ・予防接種のお知らせ
- ・会計の案内
- ・正しい手の洗い方
- ・看護師募集
- 〈医療講演会の内容例〉
- ・子宮頸がんにならないために
- ・食物アレルギーとアナフィラキシー
- ・背骨の骨折について
- ・夏バテ防止の食事
- ・がん検診を受けましょう
- 〈地域の医療機関への情報提供等の内容例〉
- ・新任医師の紹介、外来予定表、医療講演会の案内など

○LINE 公式アカウントにおいて、お見舞いメールやオンライン面会の申し込みが容易にできる体制が整っている。

○令和3年1月に、外科の常勤医師を1名増員したことにより、患者のニーズに応じた低侵襲手術や乳腺・甲状腺外来の実施など幅広い症例に対応することが可能となり、患者数の増加につながっている。

○小児科の常勤医師を1名増員したことにより、ワクチン接種体制を充実することができた。

課題

ワクチン接種者数を除く外来患者数と入院患者数が計画を下回っており、引き続き、新型コロナウイルス感染症対応と一般診療とを両立しながら、地域の医療機関との病病連携及び病診連携をより一層進める必要がある。

課題

小児科の常勤医師を増員したにもかかわらず、小児科の入院及び外来患者数が伸びていないため、LINE公式アカウント等様々な広報手段を活用しながら、医療体制等、より一層市民へのPRを強化する必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 中間報告																																						
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○質の高い医療の提供 生駒市の地域医療の問題点を踏まえ、政策的に実施すべき医療事業を確実に実施し、市民満足度の高い、質の高い医療を提供する。</p>	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、豊富なキャリアを積んだ医師や看護師、コメディカルスタッフがチーム医療で、患者にとってベストな治療・ケアを行います。 DPC 対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図ります。 引き続き、腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みます。 患者アンケートやご意見箱の内容を反映した心温まる医療サービスの提供を目指します。</p> <p>○医療サービスについて</p> <table border="0"> <tr> <td>・手術件数（全体）</td> <td>1,360 件</td> </tr> <tr> <td> 外科</td> <td>390 件</td> </tr> <tr> <td> 形成外科</td> <td>690 件</td> </tr> <tr> <td> 腎臓泌尿器科</td> <td>90 件</td> </tr> <tr> <td> 産婦人科</td> <td>190 件</td> </tr> </table> <p>・分娩件数 160 件</p> <p>・産科交流会 母子同士の交流、育児情報の提供等、産後のサポートを行います。</p> <p>・市の産後ケア事業への参加を継続します。</p> <p>・医療機器等の整備 必要性、採算性などを検討の上、高度医療機器の整備を行います。</p> <p>(導入予定機器)</p> <table border="0"> <tr> <td>・超音波診断装置</td> <td>Aplio</td> </tr> <tr> <td>・セントラルモニタ</td> <td>CNS-6201</td> </tr> <tr> <td>・ベッドサイドモニタ</td> <td>PVM-4761</td> </tr> </table>	・手術件数（全体）	1,360 件	外科	390 件	形成外科	690 件	腎臓泌尿器科	90 件	産婦人科	190 件	・超音波診断装置	Aplio	・セントラルモニタ	CNS-6201	・ベッドサイドモニタ	PVM-4761	<p>安全で質の高い医療サービスの提供を目指し、最新の設備を配置し、入院診療計画策定時から多職種が参加して最適な治療方法を策定するなど、チーム医療を実施しました。 DPC 対象病院として、診療の標準化、透明化及び診療の質の向上を図りました。 腹腔鏡下手術、胸腔鏡下手術、ダ・ヴィンチ手術等患者の身体への負担が少ない低侵襲手術に取り組みました。 また、患者の意見を可能な限り尊重したうえで、患者の思いに寄り添った医療サービスの提供を目指しました。</p> <p>○医療サービスについて</p> <table border="0"> <tr> <td>・手術件数（全体）</td> <td>623 件</td> </tr> <tr> <td> 外科</td> <td>172 件</td> </tr> <tr> <td> 形成外科</td> <td>332 件</td> </tr> <tr> <td> 腎臓泌尿器科</td> <td>47 件</td> </tr> <tr> <td> 産婦人科</td> <td>58 件</td> </tr> <tr> <td> 血管外科</td> <td>12 件</td> </tr> <tr> <td> 皮膚科</td> <td>2 件</td> </tr> </table> <p>・分娩件数 79 件</p> <p>・オンライン母親学級開催 院内健診を受けている妊婦を対象に新生児ケアについて月 2 回オンラインで開催 参加者数（延べ人数） 66 人</p> <p>・産科交流会 新型コロナウイルス感染症の影響により上半期は中止 下半期にオンラインで開催予定</p> <p>・市の産後ケア事業へ参加しました。 サポート人数 1 人 (院内において出産直後にショートステイを利用)</p> <p>・医療機器等の整備 新型コロナウイルス感染症陽性患者等への対応のため、高度医療機器の整備を行いました。</p> <p>(導入機器)</p> <table border="0"> <tr> <td>・超音波診断装置</td> <td>Aplio</td> </tr> <tr> <td>・内視鏡手術システム</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・等温遺伝子増幅装置増設</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・セントラルモニタ CNS-6201、ベッドサイドモニタ PVM-4761 については、</td> <td>下半期に導入予定</td> </tr> </table>	・手術件数（全体）	623 件	外科	172 件	形成外科	332 件	腎臓泌尿器科	47 件	産婦人科	58 件	血管外科	12 件	皮膚科	2 件	・超音波診断装置	Aplio	・内視鏡手術システム		・等温遺伝子増幅装置増設		・セントラルモニタ CNS-6201、ベッドサイドモニタ PVM-4761 については、	下半期に導入予定
・手術件数（全体）	1,360 件																																							
外科	390 件																																							
形成外科	690 件																																							
腎臓泌尿器科	90 件																																							
産婦人科	190 件																																							
・超音波診断装置	Aplio																																							
・セントラルモニタ	CNS-6201																																							
・ベッドサイドモニタ	PVM-4761																																							
・手術件数（全体）	623 件																																							
外科	172 件																																							
形成外科	332 件																																							
腎臓泌尿器科	47 件																																							
産婦人科	58 件																																							
血管外科	12 件																																							
皮膚科	2 件																																							
・超音波診断装置	Aplio																																							
・内視鏡手術システム																																								
・等温遺伝子増幅装置増設																																								
・セントラルモニタ CNS-6201、ベッドサイドモニタ PVM-4761 については、	下半期に導入予定																																							

〈科目別手術件数〉

	R3中間	R2中間	増減
外科	172	148	24
形成外科	332	362	△ 30
腎臓泌尿器科	47	49	△ 2
産婦人科	58	62	△ 4
放射線科	0	3	△ 3
血管外科	12	21	△ 9
皮膚科	2	0	2
合計	623	645	△ 22

・上記以外の件数
心臓カテーテル件数：59件、PCI：31件、内視鏡的手術：134件
(令和2年度上半期：心臓カテーテル：60件、PCI：28件、内視鏡的手術：103件)

・主な外科手術例
腹腔鏡下胆嚢摘出術、胃全摘術(悪性腫瘍)など

・主な形成外科手術例
下肢静脈瘤血管内焼灼術、眼瞼下垂症手術など

・主な産婦人科手術例
腔式子宮全摘術、帝王切開術など

・主な腎臓泌尿器科手術例
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術、経尿道的尿路結石除去術(レーザー)など

〈腹腔鏡下手術〉(胸腔鏡下手術を含む)

	R3中間	R2中間	増減
件数	79	33	46

〈ダ・ヴィンチ手術〉

	R3中間	R2中間	増減
件数	3	8	△ 5

※対応症例は、前立腺悪性腫瘍

〈分娩件数〉

		R3中間	R2中間	増減
県内	市内	50	46	4
	市外	16	10	6
	計	66	56	10
県外		13	26	△ 13
合計		79	82	△ 3

〈助産制度の実績〉

	R3中間	R2中間	増減
件数	1	1	0

※市立病院は、児童福祉法第36条に規定する助産施設

・ハイリスク分娩への対応は、奈良県総合医療センターと連携を取っています。
(件数：1件)

〈DPC病院〉

平成30年4月にDPC※準備病院の届出をし、令和2年4月からDPC対象病院となりました。

※DPC:Diagnosis(診断) Procedure(行為) Combination(組合せ)の略で、急性期病院を中心に導入が進められている包括払い制度のことです。

〈ジェネリック医薬品〉

使用率：81.7% (グループ全体使用率：83.2%)

○市の産後ケア事業に参入することで、産後の授乳指導・育児相談や母子のケア等を行い、母親の育児等を支援した。

○令和3年1月に、外科の常勤医師を1名増員したことにより、手術件数が増加した。また、患者のニーズに応じて胆嚢摘出術、虫垂切除術、ヘルニア手術など、身体的負荷が比較的軽い低侵襲な腹腔鏡下手術を行った。

○形成外科の手術件数は減少したが、新型コロナウイルス感染症陽性患者の受け入れを積極的に行いながらも、その他の診療科では手術件数が大幅に減少していないことから、一般診療とコロナ対応を両立することができた。

課題

腹腔鏡下手術の件数が増加傾向にあるが、今後も腹腔鏡下手術やダ・ヴィンチ手術等患者への身体的負担が少ない低侵襲手術をさらに推進する必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 中間報告
	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制 がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制の充実を図ります。</p> <p>脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制の充実を図ります。</p> <p>急性心筋梗塞 奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制の充実を図ります。</p> <p>糖尿病 かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療の充実を図ります。</p> <p>○患者満足度の向上について ・入院・外来患者アンケート調査の実施 1 階において、待ち時間が短縮できるように、引き続き案内係を配置し、窓口業務が円滑に行えるよう努めます。</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 アンケート調査結果やご意見箱の意見などについて、ホームページ・病院だより等で公表し、市立病院管理運営協議会へ報告します。</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 新人職員を対象とした接遇研修をはじめ院内スタッフ対象の接遇研修を充実します。</p> <p>・院内における接遇委員会を定期的に開催し、接遇の向上を図ります。</p>	<p>主要疾病（4 疾病）に係る医療体制 がん 地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）と連携のもと精密検査や病理診断、手術療法、化学療法によるがん治療体制を確保しています。</p> <p>脳卒中 近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター等との連携のもと、発病後、できる限り早期に検査・診断・治療できる体制を確保しています。</p> <p>急性心筋梗塞 奈良県総合医療センターと連携のもと、緊急の心臓カテーテル検査・PCI が 24 時間 365 日可能な体制を確保しています。</p> <p>糖尿病 内科、循環器内科、形成外科及び血管外科において、かかりつけ医との連携のもと、糖尿病低血糖症等急性増悪時の治療、慢性合併症の治療を実施しています。</p> <p>○患者満足度の向上について ・グループ全体で、令和 3 年度入院・外来患者アンケート調査を 10 月、11 月に実施予定 ・令和 3 年 8 月から、1 階において、案内係を増員し、窓口案内を円滑に実施し、患者を迅速に誘導できるよう努めました。</p> <p>・ご意見箱の内容に対応 グループ全体で実施した令和 2 年度入院・外来患者アンケート調査の結果について、令和 3 年 4 月のホームページ更新に合わせて公表しました。 また、ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。</p> <p>令和 3 年度上半期ご意見箱意見総数 入院 8 件、外来 5 件 合計 13 件</p> <p>・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。(回答総数 314 件)</p> <p>・院内スタッフ対象の接遇研修の実施 4/2 新入職員向け接遇研修 朝礼において、職員対象に接遇向上の周知</p> <p>・院内における接遇委員会を月 1 回開催 (看護部では月 1 回服装チェックなどを実施)</p> <p>・1 年次生の事務・コメディカル・救急救命士を対象とした他部署研修を実施</p>

令和3年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題
<p>○主要疾病（4疾病）に係る医療体制 〈がん〉 ・手術件数：令和3年度上半期 65件（令和2年度上半期 73件）</p> <p>・がん患者の治療により生じる合併症や機能障害に対する早期回復等を図る取組として、医師、看護師、リハビリスタッフの3名のセラピストによるがんリハビリテーションを実施しています。</p> <p>・他病院との連携実績 近畿大学奈良病院 19件、奈良県総合医療センター 5件 （令和2年度上半期：近畿大学奈良病院 11件、奈良県総合医療センター 4件）</p> <p>がん登録件数 （令和2年度上半期：112件→令和3年度上半期：75件） ※「全国がん登録」とは、日本でがんと診断された全ての人のデータを、国で1つにまとめて集計・分析・管理する仕組み。医療機関が診断した初発のがん患者を都道府県に届出し、都道府県が情報を整理し、国のデータベースに登録する。</p> <p>〈脳卒中〉 ・他病院との連携実績 近畿大学奈良病院 3件、奈良県総合医療センター6件、市立奈良病院 1件、野崎徳洲会病院 5件 （令和2年度上半期：近畿大学奈良病院 2件、奈良県総合医療センター 3件、市立奈良病院 2件、野崎徳洲会病院 9件）</p> <p>〈急性心筋梗塞〉 ・心臓カテーテル検査 59件、PCI 31件 （令和2年度上半期：心臓カテーテル検査 60件、PCI 28件）</p>	<p>○放射線治療によるがん治療は、地域がん診療連携拠点病院（近畿大学奈良病院・奈良県総合医療センター）との連携により行われている。</p> <p>○脳卒中については、近畿大学奈良病院、奈良県総合医療センター、市立奈良病院及び野崎徳洲会病院等と連携し、早期に治療できる体制を確保している。</p> <p>○急性心筋梗塞については、内科的治療（PCI）は行っており、外科的治療が必要なときは、奈良県総合医療センターの心臓血管外科との連携体制を整えている。</p> <p>○糖尿病については、かかりつけ医との連携のもと、慢性合併症等の治療を実施している。</p>

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 中間報告
<p>医療における安全管理に対する取組</p> <p>●安全管理マニュアルの策定について</p> <p>各部署からリスクマネージャーを選任し、院内にリスクマネジメント委員会を設置します。また、リスクマネジメント委員会は隔週開催し、医療安全管理者を中心に報告事例をもとにマニュアル化したうえ便覧を作成、各部署に配布し情報を共有します。</p> <p>●医療事故に対する対応について</p> <p>発生した医療事故については、関係者から医療安全管理者へ迅速に報告し、その報告をもとに調査を行い、MRM（メディカルリスクマネジメント）委員会で分析したうえ、医療安全推進委員会で討議し対応の決定を行ないます。</p> <p>●院内感染対策について</p> <p>感染防止委員会・リンクナース委員会をそれぞれ定期的に開催し、感染症発生の監視、院内感染の監視、職員の管理（予防接種等）、事故調査及び防止策の検討、職員に対する啓蒙と教育など、感染防止に対する取り組みを行ないます。</p>	<p>(医療安全管理体制について)</p> <p>市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修の実施により、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めます。また、医療安全に関する情報公開の方法等については、病院年報において、インシデント・アクシデントの包括的公表を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会（毎月 1 回開催） ・医療安全カンファレンス（毎週 1 回開催） ・医療安全勉強会（年 2 回開催） <p>(医療事故に対する対応について)</p> <p>医療事故発生時は、引き続き、次の点について徹底し、院内の総力を挙げて迅速・的確に対応します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の安全確保と救命処置を最優先します。 ・病院内における事故等の報告を速やかに行います。 ・患者・家族への事実の説明を誠実かつ速やかに行います。 ・重大な医療事故の場合は、保健所等関係機関へ速やかに報告・届出を行います。 ・事故の再発防止策を早期に検討し、職員に周知徹底します。 <p>(院内感染対策について)</p> <p>院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会（毎月 1 回開催） ・ICT 合同カンファレンス（偶数月参加） ・ICT ラウンド（毎週 1 回開催） ・感染勉強会（年 2 回開催） ・院内感染対策に係る地域医療連携（合同カンファレンス 年 2 回参加） <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策用として、マスク・消毒液等計画的に備蓄を行います。 <p>・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、引き続き、奈良県や市、医師会をはじめとする関係機関と情報交換しながら、PCR 検査体制、新型コロナウイルス感染症患者の入院受入体制及びワクチン接種体制など、目まぐるしく変化する新型コロナウイルス感染症の状況に臨機応変に対応します。</p>	<p>(医療安全管理体制について)</p> <p>市民・患者に信頼される安全で安心できる病院を目指して、医療安全管理委員会を中心に、インシデント・アクシデントに関する事例の分析、改善方法の院内共有、医療安全研修を実施しました。</p> <p>さらに、事故防止の要点や対策について職員に周知徹底することで、医療事故の防止と医療安全対策の強化に努めました。</p> <p>また、医療安全に関する情報公開の方法等については、下半期に発行予定の病院年報において、インシデント件数の包括的公表を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全管理委員会、医療安全カンファレンスについて計画どおり実施しました。 ・医療安全勉強会 7/28 126 名参加 7/29 93 名参加 7/30 94 名参加 合計 313 名参加 <p>(医療事故に対する対応について)</p> <p>医療事故発生時に備えて、日常から迅速・的確に対応できるよう体制整備に努めています。</p> <p>(院内感染対策について)</p> <p>院内の全ての人を院内感染から守るため、継続的に院内感染防止活動に取り組みました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策委員会、ICT ラウンドについて計画どおり実施しました。 ・感染勉強会 7/28 126 名参加 7/29 93 名参加 7/30 94 名参加 合計 313 名参加 ・ICT 合同カンファレンス・院内感染対策に係る地域医療連携 6/22、9/14 ZOOMにて開催 <p>(新型コロナウイルス感染症対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策用として、マスク・消毒液等計画的に備蓄を行いました。 備蓄数（令和 3 年 9 月末） マスク 7,220 枚、消毒液 250ml 32 個等 ・非常勤医師等を含む全職員への院内感染対策を徹底しました。（常時マスク着用の徹底、PCR 検体採取時のマスク、ゴーグル、ガウン等个人防护具の装着の徹底） ・令和 3 年 1 月から 5 階西病棟において新型コロナウイルス感染症陽性患者の受入を 12 床で開始しました。 ・5 月から個室に加え、4 床室を使用し、コロナ陽性患者専用の受入病棟として、病床数を 16 床に拡大しました。 ・感染拡大傾向が顕著であった 8 月 23 日からは、陽性患者用病床数を 20 床に拡大しました。 ・令和 3 年度上半期受入患者数 疑似症患者数 47 人（令和 2 年度上半期 157 人） 陽性患者数 1,788 人（令和 3 年 1 月から開始） ・令和 3 年度上半期検査件数 PCR検査数 3,541 件（令和 2 年度上半期 919 件） 抗原検査数 2,367 件（令和 2 年度上半期 122 件）

令和3年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題								
<p><病院事業計画との対比></p> <table border="1" data-bbox="151 226 778 344"> <tr> <td>病院事業計画</td> <td>令和3年度中間報告</td> </tr> <tr> <td>リスクマネジメント委員会</td> <td>医療安全カンファレンス</td> </tr> <tr> <td>医療安全推進委員会</td> <td>医療安全管理委員会</td> </tr> <tr> <td>感染防止委員会</td> <td>院内感染対策委員会</td> </tr> </table> <p><医療安全管理委員会> 医療安全管理委員会は、委員長を顧問、副委員長を副看護部長とし、その他、医師、看護師、コメディカルの各部門の責任者で構成されています。 医療安全管理委員会では、院内でのインシデント(ヒヤリハット)・アクシデント事例の情報共有と対策を検討しています。 通常想定されないようなインシデント事例やアクシデント事例が発生した場合は、臨時に医療安全管理委員会を開催するとともに、生駒市に報告する体制ができています。</p> <p><医療安全カンファレンス> 医療安全管理委員会の下に設置し、前週のインシデントレポートについて参加者が報告・情報共有・対策等を検討しています。</p> <p><安全管理マニュアル> 各部門に医療安全管理委員(リスクマネジャー)を置き、各部門で作成した詳細マニュアルを運用しています。 (転倒転落、患者確認、口頭指示、体内遺残防止、診断検査の重大な結果報告、手術患者・手術部位の誤認防止、摘出された臓器・組織・検体の取扱いなど)</p> <p><医療安全勉強会の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ:「アウトレットの取扱いと点検」 講師:小谷臨床工学技士長 ・テーマ:「医療放射線に係る安全管理の為の職員研修」 講師:森田放射線科技師長 合計 313 名参加 <p><院内感染対策委員会 (ICT) > 院内感染対策委員会では、感染発生の監視、院内感染の監視、職員の管理(予防接種等)、事故調査及び防止策の検討を行っています。 令和2年4月からCOVID-19 対応手引書を整備し、随時、内容の見直しを行いながら対応しています。</p> <p><ICT ラウンド> 各部署を巡回し、医療事故やインシデントが起きやすい環境(物品の配置等)を指摘し、各委員会で報告し、改善を促す活動のことでです。</p> <p><感染勉強会の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマ:「COVID-19 検査法及び結果の考え方」 講師:神農検査技師長 ・テーマ:「COVID-19 の治療薬について」 講師:植田薬局副主任 合計 313 名参加 <p><ICT 合同カンファレンス・院内感染対策に係る地域連携> 院内感染対策に係る地域連携として、看護師、薬剤師、検査技師で構成する感染防止対策チームが、奈良県総合医療センターを中心とした合同カンファレンスに、ZOOMにより参加しました。</p> <p><新型コロナウイルス感染症対策会議></p> <ul style="list-style-type: none"> ・奈良県主催 新型コロナウイルス感染症に関する連絡会 14 回参加 ・県主催連絡会終了後、院長等 3 役中心のコロナ対策会議 14 回開催 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年11月1日に屋外にプレハブを設置して、有熱外来として対応しました。 ・7 階講堂・交流センターを特設会場として、新型コロナワクチン個別接種を実施しました。 ・面会制限実施 ・来院者の検温確認実施 ・お見舞いメールの運用: 80 件(令和2年度上半期 59 件) ・オンライン面会: 126 件(令和2年11月から実施・令和2年度 51 件) 	病院事業計画	令和3年度中間報告	リスクマネジメント委員会	医療安全カンファレンス	医療安全推進委員会	医療安全管理委員会	感染防止委員会	院内感染対策委員会	<p>○院内感染対策に係る地域医療連携として、奈良県総合医療センターを中心とする合同カンファレンスに ZOOM により参加し、市内等病院間の相互理解や情報共有を行うことで、地域医療連携を強化している。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、院内の動線を明確に区分するとともに、エレベーターなど区分できない所も、使用時間を分けるなど院内感染対策が十分に行われている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症疑似症患者を診療する際には、屋外のプレハブを使用するなど、感染管理を徹底している。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症疑似症患者及び陽性患者を受け入れるに際して、休日夜間応急診療所や市内医療機関等と連携を密にし、市内医療機関等のバックアップの機能を果たしている。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら、陽性患者の病床数拡大や疑似症患者の受入病床の整備を柔軟に行い、コロナ対応に注力している。</p> <p>○面会を制限する中で、お見舞いメールの運用やオンライン面会の実施など、市民の要望に応える取り組みを進めている。</p> <p>○抜き打ちで手の汚れを検査するなど、院内感染対策委員会が活発に活動している。</p> <p>○医療安全に関して、インシデント・アクシデントレポートを多く提出してもらうよう働きかけをしている。</p> <p>課題 今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大に備えて、引き続き、奈良県をはじめとする関係機関と情報交換しながら、院内における感染管理をより一層徹底する必要がある。</p>
病院事業計画	令和3年度中間報告								
リスクマネジメント委員会	医療安全カンファレンス								
医療安全推進委員会	医療安全管理委員会								
感染防止委員会	院内感染対策委員会								

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 中間報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○地域完結型の医療体制構築への寄与 地域の病院がそれぞれの機能を分担し、かかりつけ医との連携も含めた地域完結型の医療を目指し、また、患者を中心とした継続性のある医療を提供するため、前方連携と後方連携を考慮し、周辺の地域医療機関との病診連携や病病連携を積極的に推進する。</p> <p>地域医療の支援に対する取組 ●在宅支援機能の充実 地域連携パスや退院支援チーム等の取組みにより、在宅支援診療所との連携を図りながら、在宅への移行支援を行ないます。 また、急性期医療の患者を対象とした在宅医療システムを検討実施します。具体的には、在宅患者の増悪時に対応する処置、入院加療用として5床を確保します。</p> <p>●開放型病床の設置 地域の開業医と連携することにより、診療の一貫性が実現できることから、医師会と病床数や運営方法を協議の上、開放型病床を設置します。</p> <p>●地域医療機関への医療教育プログラムの提供 次の取組を検討し、段階的に実施します。 ・診療科による他医療機関との合同症例検討会の実施 ・院内外の医療従事者に対する TCLS ※又は AHABLS、AHAACLS トレーニング (ACLS に相当する指定管理者のプログラム) の継続的実施 (2 年に 1 回程度) ・医療機関、救急隊との定期勉強会の実施 (年 2 回程度) ※TCLS 二次医療機関で行う救命救急における心肺蘇生法で、アメリカ心臓協会が認定しているコースである ACLS のガイドラインに基づいた実際の医療機器を使用したシミュレーション実習のこと。</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に貢献します。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行います。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図ります。 地域医療連携室において、引き続き、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携を推進します。</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について 地域医療従事者の資質向上を目的とした各種症例検討会、講演会、研修会を実施します。また、医療教育プログラムへの地域医療従事者の参加を促進します。 ・医療教育プログラム 新生児蘇生法講習会(NCPR)、周産期救急講習会(ALSO)への参加 ・病診連携懇話会を開催します。</p>	<p>地域の医療機関との病診・病病連携を積極的に推進するとともに、介護・福祉施設との密接な連携を図ることで、地域医療の充実に努めました。</p> <p>○在宅支援機能の充実について 増加する在宅患者やそのかかりつけ医をサポートする後方支援病院としての役割を果たすため、医療連携登録医や協力医療機関連携施設等との連携を強化し、在宅患者の入院加療用病床の確保など、在宅患者等の増悪時の積極的な受け入れを行いました。 入退院支援チームの推進、生駒市の入退院調整マニュアルの積極的な活用により、市内等の医療機関や介護事業者等との連絡調整と情報共有による円滑な入退院の推進を図りました。 地域医療連携室において、紹介元の開業医が、紹介患者の電子カルテを閲覧できるスペースを設け、病診連携に努めました。</p> <p>(令和 3 年 9 月 30 日時点) ・医療連携登録医 68 施設・83 名 ・協力医療機関連携施設 65 施設</p> <p>・生駒市医療介護連携ネットワーク協議会 生駒市医療介護連携ネットワーク協議会及び在宅医療介護推進部会の開催は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により延期</p> <p>○地域医療機関への医療教育プログラムの提供について ・心不全・弁膜症の低侵襲治療講演会 6/17 49 名参加 (内オンライン 30 名) ・新生児蘇生法講習会 (NCPR) 下半期に開催予定 ・病診連携懇話会は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p>

<医療連携登録医>

	R3中間	R2	増減
施設数	68	67	1

医療連携登録医は、医療連携登録医申請書の提出によるもの。

68施設の内、市内クリニックは28施設、34名

全市内クリニック（89施設）の31.5%

医療連携登録医からの紹介件数：475件（市内310件、市外165件）

（令和2年度上半期：442件（市内280件、市外162件））

<協力医療機関連携施設>

	R3中間	R2	増減
施設数	65	63	2

協力医療機関連携施設（介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームなど）と、連携契約書を締結しています。

※協力医療機関連携施設からの患者の救急車による搬送件数：11件

（令和2年度上半期 13件）

<入退院支援チーム>

市立病院の医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーにより、患者の退院の計画を作成しています。

入退院支援チームの実績

入退院支援加算	1,021件	（令和2年度上半期 709件）
介護支援連携指導料	74件	（令和2年度上半期 111件）
退院時共同加算	19件	（令和2年度上半期 18件）
退院時訪問指導料	2件	（令和2年度上半期 5件）

<低侵襲治療講演会>

座長に市内診療所の医師を招いて、岸和田徳州会病院の循環器内科、心臓血管外科の医師と当院薬剤師による、最新の心不全、弁膜症治療、糖尿病の治療に関する3題の医療講演に、市内診療所の医師も参加し、意見交換を行いました。

○医師、専任の看護師、専従のメディカルソーシャルワーカーによる入退院支援チームの活動や入退院調整マニュアルの積極的な活用により、入退院支援加算件数が増加しており、退院後も切れ目のないケアを提供できている。

○メディカルソーシャルワーカーの増員に伴い、入退院支援加算件数が増加しており、退院困難患者の早期抽出、入院早期の患者との面談、多職種連携カンファレンスを実施するなど、入院早期から退院後の生活を見据えた支援が推進されている。

課題

紹介件数が多い医療機関へ働きかけ、市内の医療連携登録医を増やすことで、在宅支援機能をさらに充実させて、地域の医療機関等との連携強化をより一層図る必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 中間報告
<p>●周辺の他の医療機関との連携 新病院開院後は、医師会に加入し、医療機器の相互利用やグループ内専門医による研究会、合同カンファレンスの開催、医師会枠としての開放病床の取組を進めます。 また、連携に賛同された医療機関を写真入りで院内に公開する「かかりつけ医コーナー」を設置し、患者が自由に情報収集でき、希望に応じて紹介状の作成、予約確認等を行い案内するシステムを構築します。 また、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関との連携等を図る観点から、医師会の協力のもと、地域の診療所や病院を支援する医療機関として、将来的には「地域医療支援病院」の承認を目指します。</p> <p>●地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等 院内に地域医療連携室を設置し、専任職員（看護師・MSW・介護職員等で構成）を配置します。 この専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズに応え、相互の紹介をはじめ診療情報等の提供を行います。 また、今後、さらなる地域医療連携を推進するため、医師会等とも十分に協議しながら地域共有型電子カルテネットワークシステムの構築に向けての検討を行います。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への外来予定表、当直予定表等の情報提供を積極的に行い、医師会への入会を目指します。また、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、引き続きMRI、CT、内視鏡及びエコーの共同利用を推進し、マンモグラフィ及び高気圧酸素治療装置等の医療機器の共同利用も推進します。</p> <p>市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、「顔の見える関係性」を深めるとともに、会議の場において、積極的に情報提供をします。</p> <p>・共同利用件数（年間） MRI 150 件 CT 100 件 内視鏡 5 件 エコー 15 件</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、積極的にPRします。</p> <p>(令和 4 年 3 月 31 日時点) ・医療連携登録医 70 施設 ・協力医療機関連携施設 65 施設</p> <p>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、さらなる紹介率及び逆紹介率の向上を目指し、紹介された患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告・連絡の徹底に加え、紹介を受けた患者以外にも、病院での治療を終え症状が落ち着いたら、その後の継続した観察を必要に応じて地域の診療所に逆紹介します。</p> <p>・紹介率 38% ・逆紹介率 20%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員（看護師 1 名・メディカルソーシャルワーカー 3 名・事務職員 2 名）を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進します。 専任職員が地元医療機関を積極的に訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行います。 やまと西和ネットの活用により、同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携を強化するとともに、来院患者への同ネット参加を呼び掛けます。 市が取り組む在宅医療・介護連携推進事業に参画することにより、地域の医療機関や介護事業者など関係者間の連携強化を図ります。</p>	<p>○周辺の他の医療機関との連携について 医師会への入会を目指し、毎月、市立病院の医療機能等の情報提供を続けました。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、地域の診療所との地域医療連携の推進のため、医療機器の共同利用を実施しました。</p> <p>・市が開催する市内等医療機関との意見交換会に下半期に参加予定。</p> <p>・医療機器の共同利用件数 MRI 105 件（全利用件数 1,160 件） CT 66 件（全利用件数 3,635 件） 内視鏡 9 件（全利用件数 1,061 件） エコー 6 件（全利用件数 2,022 件）</p> <p>医療連携登録医及び協力医療機関連携施設の登録数の増大を目指し、地域医療連携室の職員が地元医療機関を訪問し、登録のメリットを積極的にPRしました。</p> <p>(令和 3 年 9 月 30 日時点) ・医療連携登録医 68 施設・83 名 ・協力医療機関連携施設 65 施設 ・地域の医療機関への情報提供等訪問回数 1,198 件、257 施設 (令和 2 年度上半期 1,548 件、255 施設)</p> <p>地域の医療機関との病病・病診連携及び協力体制を重視し、紹介された患者の受け入れに努めました。 また、病状の安定した患者の逆紹介を促進するため、紹介を受けた患者については紹介元へ逆紹介することに加え、紹介を受けていない患者についても、地域医療連携室を通して、患者と相談しながら、患者の住居の周辺の医療機関などへの逆紹介に努めました。</p> <p>・紹介率 24.9% ・逆紹介率 14.1%</p> <p>○地域医療連携推進のための組織・体制及び方法等について 地域医療連携室の専任職員を配置し、紹介・逆紹介及び入退院調整を推進しました。 地域医療連携室の専任職員が地元医療機関を訪問することによって、地元医療機関のニーズを把握し、診療情報等の提供を行いました。 やまと西和ネットに参加し、同ネット参加医療機関及び介護事業所との患者情報の共有等連携に努めました。</p>

<医師会へ提供している情報>

市立病院の外來予定表、当直表、オンコール表、病院だよりなど

<医療機器の共同利用>

	R3中間	R2中間	増減
MRI	105	82	23
CT	66	34	32
内視鏡	9	1	8
エコー	6	10	△ 4

<医療連携登録医>

	R3中間	R2	増減
施設数	68	67	1

- ・医療連携登録医は、医療連携登録医申請書の提出によるもの。
- ・68施設の内、市内クリニックは28施設・34名
- ・全市内クリニック（89施設）の31.5%
- ・登録医であることを周知する登録医プレートを全登録医に配布

<協力医療機関連携施設>

	R3中間	R2	増減
施設数	65	63	2

協力医療機関連携施設（介護老人保健施設、グループホーム、特別養護老人ホームなど）と連携契約書を締結しています。

<紹介率・逆紹介率等>

	R3中間	R2中間	増減
紹介率	24.9	34.8	△ 9.9
逆紹介率	14.1	15.2	△ 1.1
地域(市内)医療機関の市立病院利用率	67.4	75.3	△ 7.9

- ・紹介率 $(\text{紹介初診患者数} + \text{初診救急患者数}) \div \text{初診患者数}$
 $(1,301 + 904) \div 8,839 = 24.9\%$
- ・逆紹介率 $\text{逆紹介患者数} \div \text{初診患者数}$
 $1,249 \div 8,839 = 14.1\%$
 (参考：紹介元の医療機関に返した入院患者数 \div 紹介による入院患者数)
 $124 \text{ 件} \div 202 \text{ 件} = 61.4\%$
- ・地域(市内)医療機関の市立病院利用率
 $\text{市内で紹介を受けた医科医療機関数} \div \text{市内医科医療機関数}$
 $60 \div 89 = 67.4\%$

<地域医療連携室> (令和3年9月30日現在)

- ・看護師 1名
- ・メディカルソーシャルワーカー4名
- ・事務員 2名

<やまと西和ネット>

- ・西和医療圏（生駒市他1市7町）の医療機関、介護事業所を利用される方の病気、薬などの情報を共有（事務局：一般社団法人西和医療圏地域医療介護連携推進協議会）
- 参考：令和3年9月末現在参加施設数 48施設

○地域医療連携室の職員が地域の医療機関を毎月訪問し、診療内容等の周知の取り組みが強化されていることにより、MRI や CT の利用件数が増加するなど、地域医療連携の推進につながっている。

○地域医療機関との病病・病診連携が推進されたことにより、患者の状況や診療結果の報告、退院時に紹介元へ戻す旨の報告等が徹底されている。

課題
医療連携登録医を増やし、地域医療機関との病病・病診連携のさらなる推進を図るため、引き続き医師会への入会を目指す必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 中間報告																	
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト ○救急医療の充実 本地域における二次救急医療に対応できる中核病院の必要性から、内科系、外科系、小児科系の二次救急医療の充実を図る。</p> <p>●救急医療体制 市内の二次救急体制で中心的な役割を果たすことを目指し、内科系二次・外科系一次二次輪番体制へ参加するとともに、北和小児科二次輪番体制等への参加や休日夜間応急診療所のバックアップを行います。さらに、救急告示病院として、市消防本部救急隊との連携連絡を緊密にし、かつ当直体制を開示し、24 時間体制での救急受け入れをします。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="108 757 459 1205"> <thead> <tr> <th>診療分野</th> <th>稼働内容</th> <th>稼働回数 (1月あたり)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科系</td> <td>市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加</td> <td>内科系 5 回</td> </tr> <tr> <td>外科系</td> <td>市内外科系一次二次輪番体制への参加</td> <td>外科系 5 回</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">小児科</td> <td>奈良県北和小児科二次輪番体制への参加</td> <td>休日 2 回 夜間 2 回</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)</td> <td>10 回(※1)</td> </tr> <tr> <td>産婦人科(※2)</td> <td>奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加</td> <td>10 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 現在、休日夜間応急診療所(メディカルセンター)で小児科医師が当直している火・木・土・日(うち火・木は 22:00~24:00 の当直)以外の曜日を小児一次救急担当日とし、開院当初は、当該担当日の月・水・金は 20 時から 24 時までは総合診療医を配置します。 ただし、開院後 3 年を目途に小児科医師を 1 名増員することで小児救急の充実を図ります。</p> <p>(※2) 産婦人科については、一次・二次診療を行います。産婦人科緊急手術、分娩、ハイリスク分娩に対応します。但し、未熟児分娩が予想される場合は NICU を有する北和三次救急施設と緊密な連携を取り迅速な対応をします。</p>	診療分野	稼働内容	稼働回数 (1月あたり)	内科系	市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5 回	外科系	市内外科系一次二次輪番体制への参加	外科系 5 回	小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2 回 夜間 2 回	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10 回(※1)	産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10 回	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実を目指します。 奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施します。 また、新型コロナウイルス疑似症患者の救急受け入れをします。</p> <p>○救急医療体制について ・救急受入件数 1,700 件 ・救急応需率 95.0 %</p> <p>・市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、救急医療の連携強化を目指します。</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たします。</p> <p>・奈良県と情報交換をしながら、小児二次医療体制の整備に努め、北和小児科二次輪番へ参加します。</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制を整備します。</p>	<p>救急患者を「断らない」という姿勢のもと、24 時間 365 日受け入れ体制を整え、地域住民が安心できる救急医療体制の充実に努めました。 奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院等との連携のもと、救急患者の状態に応じた適切な救急医療を実施しました。 また、新型コロナウイルス疑似症患者等の救急受け入れをします。</p> <p>○救急医療体制について ・救急受入件数 904 件(市内 502 件、市外 402 件) ・救急応需率 92.1 %</p> <p>・市が開催する市内等医療機関との意見交換会に下半期に参加予定。</p> <p>・市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加に向けて、引き続き、関係機関と協議を行うとともに、救急患者の市内受入率の向上を目指し、市内等輪番病院や休日夜間応急診療所のバックアップの役割を果たしました。</p> <p>・北和小児科二次輪番体制へ令和 3 年 10 月からの参加に向けて、北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席し、当番日の調整及び情報交換を行いました。</p> <p>・北和産婦人科一次救急医療体制への参加については、将来的な奈良県からの参加要請に対応できるように、産婦人科診療体制を整備しています。</p>
診療分野	稼働内容	稼働回数 (1月あたり)																	
内科系	市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制への参加	内科系 5 回																	
外科系	市内外科系一次二次輪番体制への参加	外科系 5 回																	
小児科	奈良県北和小児科二次輪番体制への参加	休日 2 回 夜間 2 回																	
	休日夜間応急診療所のバックアップ(休日夜間の一次救急)	10 回(※1)																	
産婦人科(※2)	奈良県北和産婦人科一次救急医療体制への参加	10 回																	

<救急要請件数>

	R3中間	R2中間	増減
件数	982	946	36

<救急受入件数>

	R3中間	R2中間	増減
市内	502	528	△ 26
市外	402	362	40
計	904	890	14

<救急応需率>

	R3中間	R2中間	増減
救急受入件数÷救急要請件数	92.1%	94.1%	△ 2.0%

<ウォークイン患者受入件数>

	R3中間	R2中間	増減
件数	1,494	1,945	△ 451
月平均	249.0	324.2	△ 75.2

<救急患者の転送件数>

	R3中間	R2中間	増減
受入件数	904	890	14
県内転送	22	49	△ 27
県外転送	13	12	1
転送計	35	61	△ 26

<救急患者の転送率>

	R3中間	R2中間	増減
県内転送	2.4%	5.5%	△3.1%
県外転送	1.4%	1.4%	0.0%
転送計	3.9%	6.9%	△3.0%

<参考：生駒市消防の救急搬送状況（全時間帯）>※

	R3中間	R2中間	増減
市内	67.7%	69.7%	△2.0%
市立病院	23.8%	25.9%	△2.1%
その他病院	43.9%	43.8%	0.1%

<参考：生駒市消防の救急搬送状況（当直時間帯）>※

	R3中間	R2中間	増減
市内	64.7%	65.7%	△1.0%
市立病院	26.7%	29.0%	△2.3%
その他病院	38.0%	36.7%	1.3%

※市消防本部提供、速報値

<市内等輪番病院のバックアップ状況>

	R3中間	R2中間	増減
バックアップ率	47%	48%	△1%

バックアップ率

救急患者を市内等輪番病院が当番日に受け入れできなかった件数のうち、生駒市立病院が受け入れた件数
 （令和3年度上半期：43件÷92件、令和2年度上半期：55件÷115件）

- ・7/28 令和3年度第1回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席（WEB開催）

○コロナ禍においても、24時間365日救急患者の受入体制を整え、発熱患者を断らない方針のもと、救急応需率は高い数値を維持し、地域の救急医療に対する貢献ができています。

○小児科の常勤医師を1名増員したことにより、令和3年10月からの北和小児科二次輪番体制への参加に向けて体制を整備することができた。

課題

市内の二次救急医療体制で中心的な役割を果たすために、輪番体制への参加とともに、市内内科系二次・外科系一次二次輪番体制のバックアップの充実をより一層図る必要がある。

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 中間報告																				
<p>●救急に対する人員体制 医師・看護師・薬剤師・放射線技師・検査技師及び事務職員の当直体制をとります。</p> <p>(具体的な体制)</p> <table border="1" data-bbox="105 376 461 792"> <thead> <tr> <th colspan="2">人員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>通常時</td> <td>内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制</td> </tr> <tr> <td>北和小児科二次輪番日</td> <td>通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直</td> </tr> <tr> <td>休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日</td> <td>通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置</td> </tr> <tr> <td>北和産婦人科一次救急当番日</td> <td>通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直</td> </tr> </tbody> </table> <p>●診療科毎の対応レベル</p> <table border="1" data-bbox="105 1050 461 1751"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>対応レベル</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内科(二次輪番)</td> <td>諸検査 (CT・MRI・X 線・血液等) 及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>外科・整形外科・脳神経外科(二次輪番)</td> <td>諸検査 (CT・MRI・X 線・血液等) 及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)</td> </tr> <tr> <td>小児科(二次輪番)</td> <td>諸検査 (CT・MRI・X 線・血液等) 及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可</td> </tr> <tr> <td>産婦人科(二次輪番)</td> <td>諸検査 (CT・MRI・X 線・血液等) 及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)</td> </tr> </tbody> </table>	人員体制		通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制	北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直	休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置	北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直	診療科	対応レベル	内科(二次輪番)	諸検査 (CT・MRI・X 線・血液等) 及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)	外科・整形外科・脳神経外科(二次輪番)	諸検査 (CT・MRI・X 線・血液等) 及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)	小児科(二次輪番)	諸検査 (CT・MRI・X 線・血液等) 及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可	産婦人科(二次輪番)	諸検査 (CT・MRI・X 線・血液等) 及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を引き続き整備します。特に脳神経外科、整形外科等の常勤医師の確保に努め、当直・オンコール体制のさらなる充実を目指します。</p> <p>(夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 各診療科専門医によるオンコール体制 外来看護師 2 名の当直 放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 <p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続します。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を充実します。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き、奈良県総合医療センターとの連携体制で対応します。</p>	<p>○救急に対する人員体制 救急受入体制として、医師、看護師、検査技師、放射線技師、薬剤師、事務職員の当直等、患者数に応じて必要な人員体制を整備するとともに、当直・オンコール体制のさらなる充実を図りました。</p> <p>(夜間救急受入体制)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医師 1 名の時間外担当医及び 1 名の常勤当直医の 2 名体制 専門医(各診療科)によるオンコール体制 外来看護師 2 名の当直 放射線技師、検査技師、薬剤師、事務職員 各 1 名の当直 臨床工学技士 オンコール体制
人員体制																						
通常時	内科系・外科系医師各 1 名、検査技師・放射線技師・薬剤師各 1 名の当直体制																					
北和小児科二次輪番日	通常時当直体制＋小児科医師 1 名の当直																					
休日夜間応急診療所のバックアップ(小児科)担当日	通常時当直体制＋総合診療医 1 名を 20 時～24 時の間で配置																					
北和産婦人科一次救急当番日	通常時当直体制＋産婦人科医 1 名の当直																					
診療科	対応レベル																					
内科(二次輪番)	諸検査 (CT・MRI・X 線・血液等) 及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の呼吸・循環・腎不全等は対処不能)																					
外科・整形外科・脳神経外科(二次輪番)	諸検査 (CT・MRI・X 線・血液等) 及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(例:重症の多発外傷や重症熱傷等は対処不能)																					
小児科(二次輪番)	諸検査 (CT・MRI・X 線・血液等) 及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可																					
産婦人科(二次輪番)	諸検査 (CT・MRI・X 線・血液等) 及び緊急入院は可、二次救急レベルまで対応可(未熟児出産を伴う早産は未熟児センターと連携するまで対応不可)																					
	<p>○救急についての診療科毎の対応レベルについて 休日・夜間の診療対応レベルは、CT、MRI、X 線、血液等の諸検査及び緊急入院に対応可能な体制を継続しました。また、CAG による心臓カテーテル検査及び治療、内視鏡検査及び手術にも対応可能な体制を維持しました。 産婦人科のハイリスク分娩については、引き続き、奈良県総合医療センターとの連携体制が確立しています。</p>																					

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 中間報告																																														
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○小児医療の充実 本地域における小児二次医療の充実の必要性から、地域医療機関との役割分担のもと、二次医療までの対応が可能な小児医療を提供する。</p>	<p>小児の救急対応、入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備を行います。</p> <p>○小児医療体制について ・北和小児科二次輪番体制へ参加します。</p>	<p>小児の入院患者の受け入れ等小児二次医療体制の整備に努めました。</p> <p>○小児医療体制について ・平成 30 年 1 月、令和 2 年 7 月に着任した常勤医師に加えて、令和 3 年 4 月にさらに常勤医師を確保し、常勤医師 3 名体制になりました。</p> <p>・北和小児科二次輪番体制へ令和 3 年 10 月からの参加に向けて、北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席し、当番日の調整及び情報交換を行いました。</p>																																														
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○災害時医療の確保 大規模災害時において、傷病者の受入れや医療救護に対応可能な応急用医療資機材等を備えるなど、災害に対する緊急対応ができる機能を確保する。</p>	<p>大規模災害時において、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制を引き続き整備します。</p> <p>○災害時医療体制の確立について 災害対策マニュアルに沿って現場スタッフや、状況に応じては地域住民も参加する実地訓練を行います。 ・消防訓練 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練) ・防災訓練 (トリアージ・患者受入訓練・机上訓練) 市が実施する総合防災訓練に参加、協力します。 市が開催する市内等病院との意見交換会に参加し、病病連携強化を図ります。</p>	<p>大規模災害時における、傷病者の受け入れや医療救護に対応可能な体制整備に引き続き努めました。</p> <p>○災害時医療体制の確立について ・下半期(11/26)に消防訓練実施予定 (通報訓練・初期消火訓練・避難誘導訓練)</p>																																														
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○予防医療の啓発 市立病院であることから、市民の公衆衛生意識の高揚を図るための講習を行うなど市の保健行政と連携し、保健知識の啓発を図る。</p> <p>●疾病予防機能の強化について 疾病予防に向けて、メタボリック・シンドロームや生活習慣病等についての医療講演会を定例的に開催します。(講演会の講師は医師、看護師、管理栄養士、理学療法士等病院内のスタッフや院外の医療従事者が務めます。) また、市民健診や予防接種について、市医師会と連携して、二次健診の分担等の協力体制を整備します。</p>	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供します。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民の健康づくりや疾病予防を促進するため、院内講演の充実に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況をみながら、自治会等各種団体への出張講座を積極的に実施します。 市民の幅広い年代層が健診を受けやすくするよう努めます。</p> <p>・市民健診</p> <table border="0"> <tr><td>大腸がん検診</td><td>300 件</td></tr> <tr><td>胃がん(胃内視鏡)検診</td><td>80 件</td></tr> <tr><td>乳がん検診</td><td>120 件</td></tr> <tr><td>子宮頸がん検診</td><td>230 件</td></tr> <tr><td>肝炎ウイルス検診</td><td>15 件</td></tr> <tr><td>特定健診</td><td>800 件</td></tr> <tr><td>一般健診</td><td>1,200 件</td></tr> <tr><td>人間ドック・脳ドック</td><td>1,050 件</td></tr> <tr><td>その他団体健診等</td><td>1,700 件</td></tr> </table> <p>・高齢者定期予防接種</p> <table border="0"> <tr><td>インフルエンザ</td><td>700 件</td></tr> <tr><td>肺炎球菌</td><td>70 件</td></tr> </table>	大腸がん検診	300 件	胃がん(胃内視鏡)検診	80 件	乳がん検診	120 件	子宮頸がん検診	230 件	肝炎ウイルス検診	15 件	特定健診	800 件	一般健診	1,200 件	人間ドック・脳ドック	1,050 件	その他団体健診等	1,700 件	インフルエンザ	700 件	肺炎球菌	70 件	<p>市民の疾病予防と疾病の早期発見・早期治療、重症化の防止を目的として、医療に関する基礎知識や最新の情報を医療講演会を通して提供しました。</p> <p>○疾病予防機能の強化について 市民との交流、健康づくりを推進するため、コロナ禍において、オンライン形式での医療講演会を定期的に開催しました。</p> <p>・医療講演会 20 講座 参加者 274 名 (全てオンライン開催による参加者) (自治会等各種団体への出張講座はコロナ禍により未実施)</p> <p>・市民健診</p> <table border="0"> <tr><td>大腸がん検診</td><td>79 件</td></tr> <tr><td>胃がん(胃内視鏡)検診</td><td>24 件</td></tr> <tr><td>乳がん検診</td><td>93 件</td></tr> <tr><td>子宮頸がん検診</td><td>124 件</td></tr> <tr><td>肝炎ウイルス検診</td><td>12 件</td></tr> <tr><td>特定健診</td><td>304 件</td></tr> <tr><td>一般健診</td><td>648 件</td></tr> <tr><td>生活保護者等の健康診査</td><td>14 件</td></tr> <tr><td>人間ドック・脳ドック</td><td>768 件</td></tr> <tr><td>その他団体健診等</td><td>1,533 件</td></tr> </table> <p>・高齢者定期予防接種</p> <table border="0"> <tr><td>肺炎球菌</td><td>36 件</td></tr> <tr><td>(令和 2 年度上半期 37 件)</td><td></td></tr> </table>	大腸がん検診	79 件	胃がん(胃内視鏡)検診	24 件	乳がん検診	93 件	子宮頸がん検診	124 件	肝炎ウイルス検診	12 件	特定健診	304 件	一般健診	648 件	生活保護者等の健康診査	14 件	人間ドック・脳ドック	768 件	その他団体健診等	1,533 件	肺炎球菌	36 件	(令和 2 年度上半期 37 件)	
大腸がん検診	300 件																																															
胃がん(胃内視鏡)検診	80 件																																															
乳がん検診	120 件																																															
子宮頸がん検診	230 件																																															
肝炎ウイルス検診	15 件																																															
特定健診	800 件																																															
一般健診	1,200 件																																															
人間ドック・脳ドック	1,050 件																																															
その他団体健診等	1,700 件																																															
インフルエンザ	700 件																																															
肺炎球菌	70 件																																															
大腸がん検診	79 件																																															
胃がん(胃内視鏡)検診	24 件																																															
乳がん検診	93 件																																															
子宮頸がん検診	124 件																																															
肝炎ウイルス検診	12 件																																															
特定健診	304 件																																															
一般健診	648 件																																															
生活保護者等の健康診査	14 件																																															
人間ドック・脳ドック	768 件																																															
その他団体健診等	1,533 件																																															
肺炎球菌	36 件																																															
(令和 2 年度上半期 37 件)																																																

令和3年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題																																																												
<ul style="list-style-type: none"> 小児科外来診療は、月～金までの間、常勤3名による一診体制 未熟児出産に関しては、NICUをもつ奈良県総合医療センター、近畿大学奈良病院と連携しています。 7/28 令和3年度第1回北和地区小児科病院輪番体制参加病院連絡会に出席 (WEB開催) 	<p>○小児科の常勤医師を1名増員したことにより、入院診療及び救急医療に対応できる外来診療体制を整備し、令和3年10月から北和小児科二次輪番体制へ参加可能となった。</p> <p>○小児科の常勤医師を1名増員したことにより、ワクチン接種体制を充実することができた。</p> <p>課題 小児科の常勤医師を1名増員したことにより、オンコール体制をはじめとする診療体制を充実させ、地域の小児救急医療に対して、さらに貢献する必要がある。</p>																																																												
<p><消防訓練></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年8月に、消防訓練を実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により実施できず、下半期に実施する予定です。 	<p>課題 コロナ禍が収まった折には、地元自治会の協力を得たうえで、地域住民が参加する大規模な防災訓練を定期的実施する必要がある。</p>																																																												
<p><医療講演会></p> <table border="1" data-bbox="169 1106 820 1216"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3中間</th> <th>R2中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>20</td> <td>22</td> <td>△ 2</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>274</td> <td>243</td> <td>31</td> </tr> </tbody> </table> <p><医療講演会の内容例></p> <ul style="list-style-type: none"> 子宮頸がんにならないために 食物アレルギーとアナフィラキシー 背骨の骨折について 夏バテ防止の食事 がん検診を受けましょう <p><市民健診></p> <table border="1" data-bbox="169 1424 820 1854"> <thead> <tr> <th></th> <th>R3中間</th> <th>R2中間</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>79</td> <td>138</td> <td>△ 59</td> </tr> <tr> <td>胃がん (胃内視鏡) 検診</td> <td>24</td> <td>27</td> <td>△ 3</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診※1</td> <td>93</td> <td></td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>124</td> <td>91</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>特定健診※2</td> <td>304</td> <td>355</td> <td>△ 51</td> </tr> <tr> <td>一般健診</td> <td>648</td> <td>678</td> <td>△ 30</td> </tr> <tr> <td>生活保護者等の健康診査※3</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>人間ドック・脳ドック</td> <td>768</td> <td>545</td> <td>223</td> </tr> <tr> <td>その他団体健診等</td> <td>1,533</td> <td>1,470</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,599</td> <td>3,313</td> <td>286</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 乳がん検診は、令和2年11月から実施 ※2 生活習慣病を予防・早期発見するための健診 ※3 健康増進法施行規則第4条の2第4号に定める健康診査</p>		R3中間	R2中間	増減	件数	20	22	△ 2	参加者数	274	243	31		R3中間	R2中間	増減	大腸がん検診	79	138	△ 59	胃がん (胃内視鏡) 検診	24	27	△ 3	乳がん検診※1	93		93	子宮頸がん検診	124	91	33	肝炎ウイルス検診	12	6	6	特定健診※2	304	355	△ 51	一般健診	648	678	△ 30	生活保護者等の健康診査※3	14	3	11	人間ドック・脳ドック	768	545	223	その他団体健診等	1,533	1,470	63	合計	3,599	3,313	286	<p>○医師、看護師、薬剤師等による予防医療の啓発に向けた医療講演会を、幅広い内容で開催している。</p> <p>○市立病院として市民の健康づくりや疾病予防を図るため、コロナ禍においても可能な限りオンライン医療講演会を開催するなど、できる限りの手法を用いて、市民との交流、健康づくりの推進に努めている。</p> <p>課題 市民の健康づくりや疾病予防を促進するために、コロナ禍においては、オンライン医療講演会の参加者数を増やす必要がある。 また、コロナ禍が収まった折には、院内講演の充実に加え、できる限り自治会や学校、企業、各種団体・グループ等対象を広げて出張講座を実施し、より一層広域的に市民に啓発する必要がある。</p>
	R3中間	R2中間	増減																																																										
件数	20	22	△ 2																																																										
参加者数	274	243	31																																																										
	R3中間	R2中間	増減																																																										
大腸がん検診	79	138	△ 59																																																										
胃がん (胃内視鏡) 検診	24	27	△ 3																																																										
乳がん検診※1	93		93																																																										
子宮頸がん検診	124	91	33																																																										
肝炎ウイルス検診	12	6	6																																																										
特定健診※2	304	355	△ 51																																																										
一般健診	648	678	△ 30																																																										
生活保護者等の健康診査※3	14	3	11																																																										
人間ドック・脳ドック	768	545	223																																																										
その他団体健診等	1,533	1,470	63																																																										
合計	3,599	3,313	286																																																										

病院事業計画(平成 27 年 11 月改定)	令和 3 年度 事業計画	令和 3 年度 中間報告
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○市民参加による運営 条例で設置された市民の代表が参加する病院事業推進委員会において、運営の基本となる病院事業計画、指定管理者との協定及び運営状況の改善について審議し、市民参加による病院運営を実現する。</p>	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進します。また、市民にとって親しみを感じられる病院を目指し、各種市民交流行事を開催します。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み 入院・外来患者アンケート調査の結果、ご意見箱の意見、改善の取組及び対応できない理由について、院内掲示、ホームページでの公表、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会への報告など広く市民等に周知します。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査(中間報告を含む)について市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、年度事業計画に反映します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院事業推進委員会 ・市立病院管理運営協議会 ・入院・外来患者アンケート調査 ・ご意見箱の内容に対する対応 <p>○市民交流事業について 市立病院を市民に親しみを感じてもらうために、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況をみながら、市民交流事業を開催します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康フェスティバル ・院内コンサート等 	<p>市立病院の運営状況等について、病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会等を通して、市民等に情報を提供するとともに、市民等の意見を聴取することで、市民参加による病院運営を推進しました。</p> <p>○市民の意見の反映の仕組み グループ全体で実施した令和 2 年度入院・外来患者アンケート調査の結果について、令和 3 年 4 月のホームページ更新に合わせて公表しました。 さらに、ご意見箱の内容に対して、対応が必要な案件については、迅速に対応しました。 また、年度事業報告書に係る実施状況調査については、市立病院管理運営協議会等で評価、意見聴取し、次年度の事業計画作成時に反映させる予定です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・退院時に市立病院独自で患者アンケート調査を実施しました。(回答総数 314 件) <p>〈健康フェスティバル〉 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p> <p>〈院内コンサート〉 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため今年度は開催せず。</p>
<p>1 病院の基本方針 新病院のコンセプト</p> <p>○環境に配慮した運営 新病院の運営にあたっては、環境マネジメントシステムである ISO(国際標準化機構) 14000 シリーズの認証取得を目指す。</p>	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化します。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知することで、院内での省エネルギー化の啓発を図ります。 	<p>引き続き市の環境マネジメントシステムのエコオフィスの取組を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミックスペーパーなど資源ごみの分別回収を強化しました。 ・日々の電気・ガス・水道使用料を毎朝のミーティングで幹部職員に周知し、院内での省エネルギー化の啓発を図りました。

令和3年度 中間報告の補足説明	取組の評価・課題
<p><生駒市病院事業推進委員会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 9/3 第26回会議 会議内容 生駒市立病院令和2年度実施状況調査報告書(3ヵ年のまとめ)について 生駒市における地域医療の現況等報告書について <p><生駒市立病院管理運営協議会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 8/31 令和3年度第1回会議開催 会議内容 生駒市立病院令和2年度実施状況調査報告書(3ヵ年のまとめ)について 生駒市における地域医療の現況等報告書について 	<p>○ご意見箱における患者や利用者の意見等を精査し、対応可能な案件については速やかに対応することで、市民満足度の向上につながる仕組みができています。</p> <p>○退院時に市立病院が独自で行う患者アンケートを実施することにより、患者の意見を集約し、患者満足度の向上に努めている。</p> <p>○病院事業推進委員会や市立病院管理運営協議会において、市民等に情報を提供し、意見を聴取することで、市民参加による病院運営が可能となっている。</p>
	<p>○市組織と同等の取組みが実施されている。</p>
<p><院内保育所></p> <p>院内7階パンピ保育園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育時間 日勤 8:00～17:30 (365日) 夜勤 16:00～翌日10:00 (週1回 火曜日) ・ 保育園児 対象 生後2か月～10歳 (医師・看護職員のお子さん) ・ 保育士 人員 常時2名以上 <p>上半期実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育児童数 一日平均 5.7人 (令和2年度上半期 5.9人) ・ 24時間保育運営日数 16日 (令和2年度上半期 12日) ・ 休日保育運営日数 33日 (令和2年度上半期 30日) 	

収支

(単位 千円)

令和3年度事業計画 (令和3年9月末)	令和3年度中間報告	計画と報告の差額
医業収入 1,958,402	医業収入 2,013,887	医業収入 55,485
医業費用 1,962,493	医業費用 1,871,729	医業費用 △ 90,764
医業利益 △ 4,091	医業利益 142,158	医業利益 146,249
その他費用 125,542	その他費用 125,855	その他費用 313
医業外収益 10,000	医業外収益 43,430	医業外収益 33,430
医業外費用 0	医業外費用 6,662	医業外費用 6,662
経常利益 △ 119,633	経常利益 53,071	経常利益 172,704